

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】白井市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
9	2006.1.31			千葉県	白井市	53,005	35.41
構想の要約		生ごみ等の堆肥化、特産である梨の剪定枝の炭化、工業団地等で発生する可燃ごみのガス化発電などのバイオマスの有効活用を推進することで、都市部と農村部が共存する首都近郊地域の特色を生かした資源循環型社会を目指し、快適な住環境を構築していく。					
構想に盛り込まれた事業		① ガス化発電施設 ② 堆肥化施設 ③ 廃食用油の活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物		
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材				
廃食用油	○	果樹剪定枝	○			
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材		その他(            )				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙	○					
下水汚泥など						
その他(            )						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他(マルチ)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他(            )	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置：平成18－19年度(株)フジコー白井事業所、建築廃材、剪定枝木質ガス化発電施設等の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

#### ○ 廃棄物系バイオマス利用率

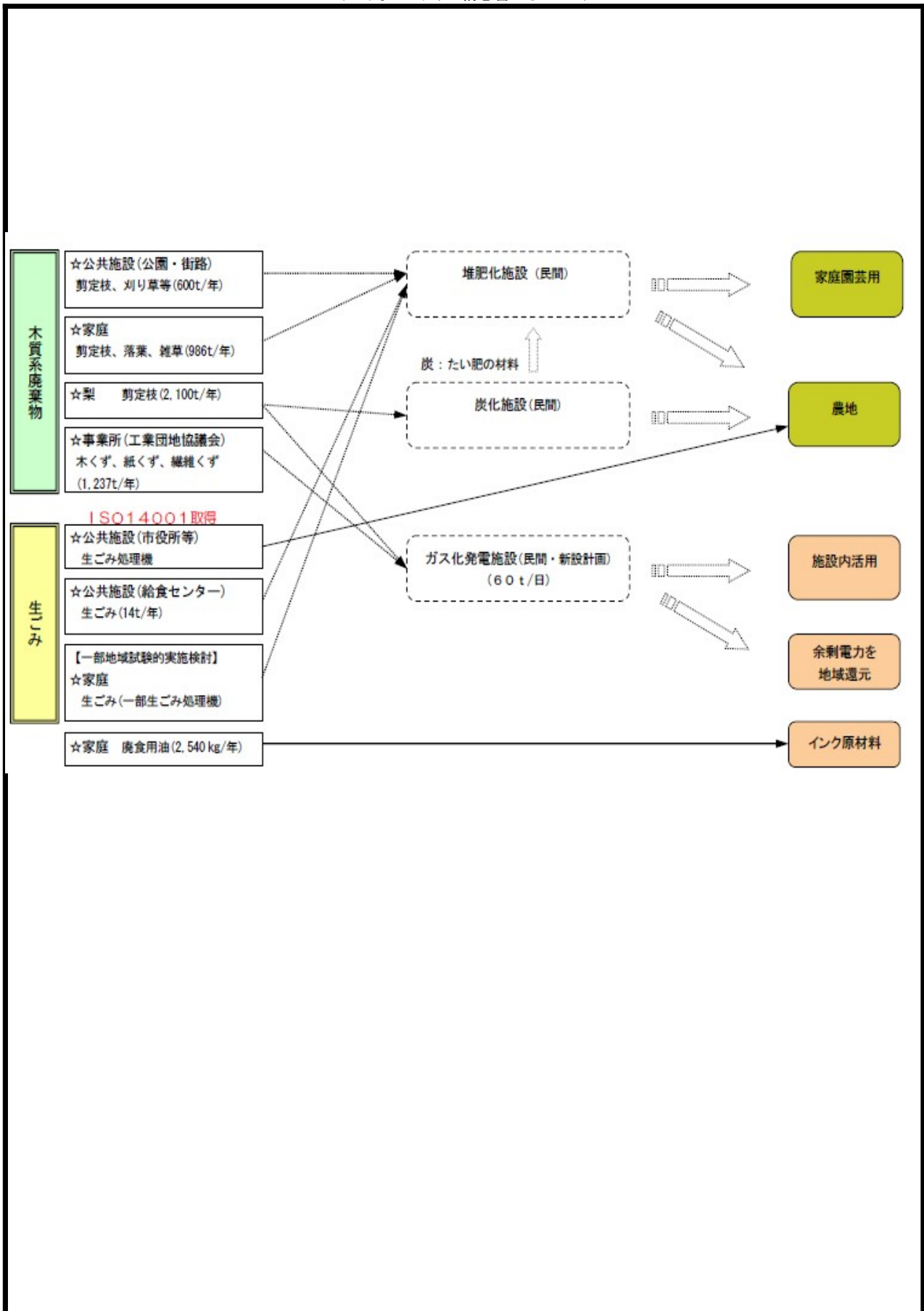
昭和40年代から造成された工業団地には約350社が進出しており、近年事業系ごみが増加傾向にあり、そのほとんどが焼却処分されている。この様なことから工業団地協会企業及び他地域から発生する紙くず等可燃ごみをガス化発電に利用する。  
また、現在焼却処分されている公共施設や家庭から排出される剪定枝約1,500tをたい肥化することや、家庭系生ごみ4,200tについては、一部地域において試験回収を行いたい肥製造を検討し、10年以内に廃棄物系バイオマスの90%以上の利活用を目指す。

#### ○ 未利用バイオマス利用率

本市は、梨の産地として県内一の栽培面積があり、毎年2,100トンの剪定枝が発生し、その処理のほとんどが焼却処分されており、剪定枝の有効利用はほとんどなされていない。この様なことから梨剪定枝を炭化し、たい肥の腐熟促進剤や土壌改良材やガス化発電の原料として利用することで、未利用バイオマスの40%以上の利活用を目指す。

# バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--